



### みんなで楽しむこと

7月3日（土）に七小フェスティバルを行いました。感染症対策のため様々な制約がありましたが、子供たちはとても楽しんでいた様子でした。いいなと思ったのは、お店を開いている側の子がとても楽しそうにしていたことです。普段関わらない学年の子の前で自分を解放すること、相手を楽しませようと頑張るところは、勉強と同じくらい大切な力だと思いました。

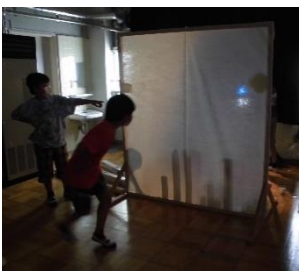


うと頑張るところは、勉強と同じくらい大切な力だと思いました。

### 四年生

「光と影から生まれる形」では、視聴覚室を暗くして、OHPやプロジェクター、スポットライトを使い、光と影でできる形の面白さを見付ける活動をしました。

物語をつくったり、影を町に見立てたり、それぞれ自由な発見を多くしていました。OHPで長編の物語を表現したグループは、場面転換でライトに付いたセロハンをパッと変えるなど、よく考えられた演出をしていました。



### 一年生

「つみきのいえ」では、クレヨンと絵の具を組み合わせる絵を描きました。絵の具セットの使い方にも慣れ、色使いや塗り方も自分で考えながら描くことができました。

「かたちやいろをたのしもう」では、カラーセロハンを好きな形に切り、重ねたり並べたりしたものをラミネートしました。セロハンの透ける特徴を楽しみながら、つくりました。職員室前の廊下の窓に展示しています。光に透けて、とてもきれいです。



職員室前の廊下の窓に展示しています。光に透けて、とてもきれいです。



### 三年生

学校ホームページにカラー版が載っています。ぜひご覧ください。



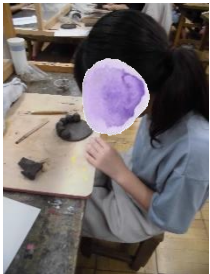
「カラフルワールド」では、エリック・カールのように、自分でつくった色紙を切り貼りして絵をつくりました。色紙づくりでは筆を使わずビーズや歯ブラシと網などで偶然できる模様を楽しみました。振り返りでは、友達が手に絵の具を塗り、スタンプをしている様子を見て、汚れるのは嫌だけれど、やってみたら思ったよりよかったです。などあり、活動の中で友達のおかげを自然に認めていることが分かりました。

### 六年生

「一瞬をつかまえて」の振り返りでは、子供の視点に驚かされました。下の写真は、さんの作品です。自分が授業をしている時、他の人は何をしているのかということテーマに撮った作品です。なかなかない視点です。



警備の斎藤さん



「水の流れのように」では、焼物粘土とガラスの特徴を生かして作品を作っています。焼物粘土を扱うのは3回目なので、自分で新しい作り方を開発する様子もみられました。石を石らしくするためのつくり方など、よく考えながらつくる様子がありました。

「使って楽しい焼き物」では、使っていて楽しくなるようなお皿と湯呑み、もしくはコップをつくっています。お皿は板づくりで、湯呑は紐づくりで、それぞれのつくり方を学びながら、自分の思い付いた形につくりました。紐づくりでは、均等な厚みになるように紐を積み上げるのに苦戦した様子でした。夏休み中に素焼きをして、2学期に絵付けをします。完成が楽しみです。

裏面にポスターコンクールについてのお知らせがあります。